トルクレンチ取扱説明書

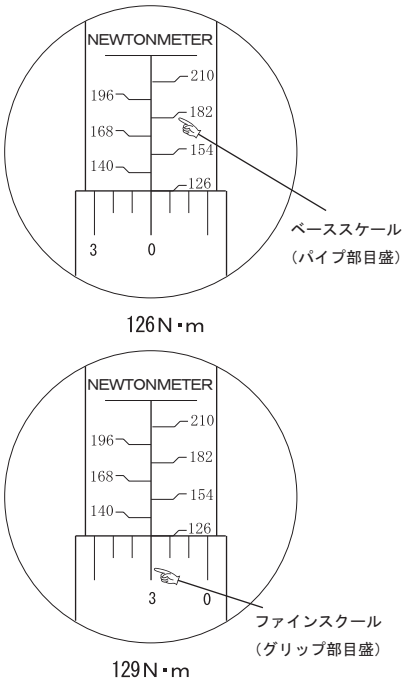
【ご使用にあたって】

1. ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また大切に保管しておいて下さい。
2. 最大目盛り以上のトルクで使用しないで下さい。
3. このレンチは、ネジ、ボルト、ナット等を手動で締めることのみを目的として設計されていますので、ナットブレーカーその他の目的で使用することは避けて下さい。
4. 必要以上に荷重を加えると欠陥のあるボルト、ナットは突然壊れることがあります。差込み不足や既に損傷や磨耗があったり、または荷重が大きすぎる場合は、ラチェットがスリップしたり壊れる原因となります。突発的な事故を防ぐため、常に足場及びバランスを確認してください。足場の悪い所や作動中の機械類の周りでの使用は避けて下さい。
5. このトルクレンチはクリック音を超えて使用すると設定値以上のトルクがかかります。過荷重によって生じる突発的な事故を防ぐためにいろいろなトルク値でお試しの上クリック音の感覚を養ってください。
   ※クリック音・・・レンチが設定トルクに達すると《カチッ》と音がします。
6. 使用にあたってはグリップ部にだけ荷重をかける様にして下さい。金属パイプ等を続ぎ足してトルクを増す様なことは絶対にしないで下さい。またハンマーや足で踏むなどの衝撃荷重を加えないで下さい。
7. レンチ内にはご自身で修理できるような部品は入っていません。精密度を失いますので、レンチは絶対に分解しないで下さい。

【ご使用方法】

※ 逆転でのトルク設定は出来ません。

1. 左手でレンチの中心を持ち、レンチの一番下に付いているロックツマミを左に回してロックを解除しハンドルグリップを緩めます。
2. グリップを回してトルク目盛りを合わせます。ファインスケールの１目盛りは、１N･mです。０から０まで１回転で１４N･mです。例えば、１２６N･mを設定する場合の手順はベーススケール（パイプ部目盛）を１２６に、ファインスケール（グリップ部目盛）を０に合わせます。１２６N･mに合わせた後１２９N･mにセットするには、ファインスケールを右回し（時計周り）て３に合わせます。ロックツマミを右回りに回してロックしてハンドルを固定します。
3. ソケットやタッチメントをナットやボルトにしっかりと差込み、レンチが《カチッ》と音がするまで回します。
   その時点でセットしたトルクでの締め付けが完了します。



【トルク換算表】

1kgf･m＝9.8066N･m　　1N･m＝0.101972kgf･m
1kgf･cm＝0.098066N･m　1N･m＝10.1972kgf･cm
※ kgf･m×9.80665＝N･m

ｋｇｆ・ｍ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	１０	２０	２１
Ｎ・ｍ	9.8	19.6	29.4	39.2	49.0	58.8	68.6	78.5	88.3	98.1	196.1	205.9

Ｎ・ｍ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	１０	２０
ｋｇｆ・ｍ	0.102	0.204	0.306	0.408	0.510	0.612	0.714	0.816	0.918	1.02	2.04
Ｎ・ｍ	３０	４０	５０	６０	７０	８０	９０	１００	１１０	１２０	１３０
ｋｇｆ・ｍ	3.06	4.08	5.10	6.12	7.14	8.16	9.18	10.20	11.22	12.24	13.26
Ｎ・ｍ	１４０	１５０	１６０	１７０	１８０	１９０	２００	２１０	２２０	２３０	２４０
ｋｇｆ・ｍ	14.28	15.30	16.32	17.34	18.36	19.38	20.40	21.42	22.44	23.46	24.48

【ご注意】

1. このトルクレンチは精密測定工具ですので取扱には気を付けて下さい。
2. 《カチッ》と音がした後は、レンチを回さないで下さい。特に低いトルクセットの場合は注意して下さい。
3. 長期間使用にならなかった場合は、内部の潤滑油がパーツに行き渡る様に最初は低いトルク値で何度か操作して下さい。
4. 使用時以外は一番低いトルクの位置にハンドルをセットしておいで下さい。
5. レンチの汚れはタオル等で拭き取るだけにして下さい。製造段階で詰められた内部の特殊な潤滑油に影響するおそれがありますので、いかなる洗剤、薬品等の使用も避けて下さい。
6. ツマミをロックしている間はグリップを回さないで下さい。
7. 最大目盛りを超えてあるいは最小目盛りより下にグリップを回さないで下さい。
8. ⚠トルク調整穴をご自身で絶対調節しないで下さい。